

課題別研修「児童心理司（基礎）Ⅱ」

【実 施 日】	11月15日（金）、19日（火）
【受講決定者数】	62名
【受講生の声】	・WISCと力動フォーミュレーションについて、どちらも日常業務に直結しているアセスメントについて多角的に学ぶことができたと思います。研修で学んだことを支援にどう活かしていけるか、他の職員にも学んだことを伝えながら考えていきたいと思いました。また、日頃から興味があったテーマの研修で、より学んでいきたいという思いが出てきました。ありがとうございました。 ・本研修は、非常に濃い2日間でした。これまでで1番学びが多く、まだ落とし込めていないことも多いため、復習と練習を繰り返し、実践できるよう努めたいです。ケースが本格的に動き出す前に本研修を受けられ、心理司の業務をするうえで自分が今すべきことが明確に具体化されて、非常に有意義な時間となりました。 ・ブラインドアナリシスにならないように、検査結果の数値だけで判断せず検査時の行動観察などを含めて総合的に判断することが必要と学びました。そのためにも、行動観察の技術向上や幅広い検査の分析が今後の課題と考えました。 ・精神分析の視点を持って、1つ1つの情報からクライアントの心理状態を推察することで丁寧に分析していくことの重要性和その方法を学びました。また、分析結果から心理司自身の認知や考え方の癖、無意識に避ける内容を把握して、自己理解を深めることで逆転移による情報収集の偏りを低減していくことも重要と考えました。